

## おかやまコープとわたし

難波 賢子

今から四十年余り前が、私と生協との出会いだ。大学卒業後勤務した職場で声をかけていただき共同購入に参加した。当時生協の印象は、添加物の少ない安全な商品が多いというものだった。品物が配送されると勤務時間後に参加者が三々五々集まり、皆で分けることで親しく話ができたり、他の人が注文した商品について話が発展し会話が弾んだりしたことを覚えていいる。週に一日であったが、ほっとするひとときだった。

それから数年後、岡山市（大野辻）に店舗ができ、目新しさと必要なものがすぐに手に入るといふ便利さから、少々遠くても店舗を利用することが多くなった。さらにその数年後市内（総社東）に店舗が開店し、共同購入とは距離をおいてしまった。市内の店舗は仕事帰りに利用することが多く、夜九時まで開いているのはとてもありがたかった。さらに仕事上でもまとめて多くの食品を注文することがあり、そういったことにも丁寧に対応してくださり、店舗のみの利用が増えていった。

ところが昨年八月、市内の店舗が火災により閉鎖された。突然のことで驚いた。行きつけの店がなくなり路頭に迷うはずだった。はずだったというのは、その火災から遡ること二か月前の六月に、ここ三十年利用していなかった宅配を復活していたからだ。

六月のある日、店舗で宅配の説明会の声をかけられ、いつもなら「店舗で十分です」と断っていたのに、その時は気持ちが向き、共同購入、個別宅配、コープステーションと宅配内容がかなり進化・発展していたことを知った。わかってはいたが、「注文購入でしかない商品があります」のひと言に背中を押され、宅配料不要のコープステーションを申し込んだ。始めてみると、豊富な品物揃いに驚き、店舗での買い物とバランスをとりながら一か月余りが経ったところに今回の災害が起こった。注文購入を再開していてよかったとつくづく思った。

担当の方は、いつも明るい笑顔で気持ちよく応対してくださる。また昨年末は「おせち料理に使える料理作り」のイベントに参加して、今まで使ったことのないコープ商品を紹介してもらった。遅ればせながら、緑のクオリティ商品のおいしさにも気づかせてもらった。自分の購入するものはどうしても偏りがちになる。注文購入のちらしには（店舗にも掲示しているが）人気のある商品の紹介があり、ためしてみようと思える。上手に利用したいと思う。



私が生協に参加したきっかけは安全な食品を求めるためだった。私の小学校時代に、許可されていた甘味料が時を経ず禁止になったことがあった。炭酸飲料を飲めば舌がオレンジ色になった。家は豊かではなかったが、母はできるだけ添加物の入ったものは食卓に置かなかった。

消費者の方々の意識が高まり、食品添加物の安全性が社会の中でしばしば話題にされてきた。ここ十年余りは企業の意識も高まり、添加物の功罪はある程度普及しているように思う。しかし十分だろうか。私たち消費者は商品を選ぶ時の目を養うことを大切に、そして生協には、ぜひとも消費者にわかりやすく見やすい食品表示と安全な食品の提供を今後共継続してお願いしたい。

最後になりましたが、総社東店舗の火災のお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い営業の再開をお祈り申し上げます。